

「なんもくの花」



「南牧村」では、平均年齢70歳の18名が50種類を超える宿根草や花木を生産し、「なんもくの花」として出荷しています。
(写真：現地検討会の様子)

「なんもくの花」の出荷始まる！

5月のスノーボール、オオデマリの出荷を皮切りに、今年も「なんもくの花」の出荷が始まりました。今年は春先から気温も高く、例年より出荷が早まっています。

6月からは、スモークツリーやフサスグリ、ヒメヒマワリなどがラインナップ！今後の出荷にご期待ください。



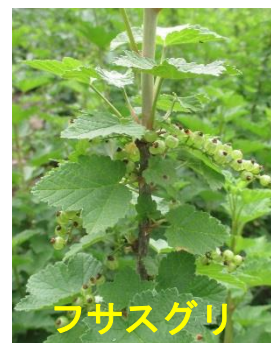
オオデマリ



オランダセダム



ヒペリカム



フサスグリ

【出荷に向けて順調に生育中！】

現地検討会開催

5月18日に1回目の現地検討会が開催され、組合員の他、取引先市場やJA、関係機関とほ場巡回を行いました。今年の生育状況を確認しながら、栽培技術や出荷方法についてなど様々な意見交換がなされました。

市場担当者も、良く管理されている畑に感心した様子で、今後の出荷に期待を寄せていました。